



評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト：CASBEE柏2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | (柏Ⅱ)総合研究棟(情報系) | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 千葉県柏市 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第二種住居地域、防火地域指定なし | 平均居住人員 | 169人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 4,380時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 学校 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年7月 予定 | 評価の実施日 | 2018年12月10日 |
| 敷地面積 | 74,870 m ² | 作成者 | 株式会社昭和設計 |
| 建築面積 | 3,689 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 10,672 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 79%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・1,2階にサーバー室や設備機械室を集約した計画、縦シャフト(PS/EPS)の分散配置など、長期的視野に立ち保守・管理が容易な計画とする。 ・庇や有孔折板パネルによる日射抑制、複層ガラスやLOW-Eガラスによる断熱性能の向上など、省エネに配慮した計画とする。 | 0 |
| Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> ・居室間の間仕切りは遮音間仕切りとする。 ・外壁面は断熱材の他、複層ガラスとして断熱性能の向上を図る。 ・ブラインドや庇、有孔折板パネルによる日射抑制を行う。 | Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> ・設備機器の更新に配慮した階高設定・荷重設定とする。 ・縦シャフト(PS/EPS)の分散配置により、将来の更新性に配慮した計画とする。 |
| LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> ・外皮の高断熱化、設備システムの高効率化により、省エネルギーな建物とする。 ・太陽光発電パネルを設置する。 | LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> ・直天井やOAフロアにより設備機器更新に対応し、廃棄資源の低減に寄与する計画とする。 |
| | Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> ・既存樹木を保存した計画とする。 ・周辺の建物高さや色調を揃える計画とする。 |
| | LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> ・十分な台数の駐輪場、駐車場を確保し、ゆとりある敷地内通路を計画することで、周辺道路への交通負荷の抑制に配慮した計画とする。 ・敷地境界より十分に離れた場所に設備機器を設置し、騒音基準以下とした。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

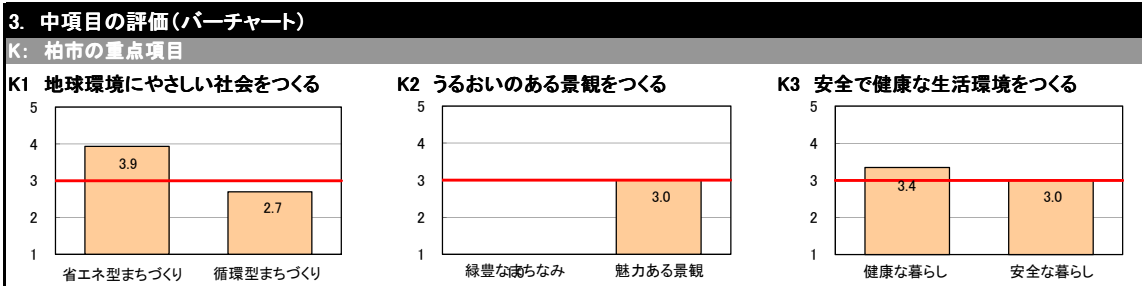


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

| | |
|---------------------|-----------------------------------|
| 1 建物概要 | |
| 建物名称 (柏Ⅱ)総合研究棟(情報系) | 建築物の環境効率 (BEEランク) B+ ★★★★★ |

| 2 重点項目への取り組み度 | | |
|---|--------------------------------------|-------|
| 重点項目 | 取り組み度※(得点/満点) | 評価結果 |
| K1 地球環境にやさしい社会をつくる | 3.3 / 5.0 | ふつう |
| K2 うるおいのある景観をつくる | 2.0 / 5.0 | がんばろう |
| K3 安全で健康な生活環境をつくる | 3.1 / 5.0 | ふつう |
| ※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例) | すばらしい 4点以上 ふつう 3点以上 がんばろう 3点未満 | |



| | |
|--|---|
| 4. 設計上の配慮事項 | |
| <p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁面は断熱材の他、複層ガラスとして断熱性能の向上を図る。 ・ブラインドや庇、有孔折板パネルによる日射抑制を行う。 ・直天井やOAフロアにより設備機器更新に対応し、廃棄資源の低減に寄与する計画とする。 | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 省エネ型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 5.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.1 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 循環型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 2.8 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 2.0 |
| <p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存樹木を保存し、緑豊かな街並みに寄与する計画とする。 ・周辺の建物高さや色調を揃え、文教施設の集まる地域としてふさわしい景観計画とする。 | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 緑豊かなまちなみ <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 1.0 魅力ある景観 <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 - |
| <p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然通風、自然採光が確保できる計画とするとともに、内装材には全面的にF☆☆☆☆を使用した計画とする。 ・重要度係数1.25の耐震性を確保した計画とする。 | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 3.7 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 安全な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 - |